

WATEX

XLDR-88 Ver.1.01

取扱説明書

XLDR-88URG (運行管理連携型)

- 専用ビューアー付属GPSあり/車速パルスケーブル付き
地図走行軌跡表示/運行管理ソフト付属(日報出力可能)

XLDR-88HG (標準型)

- 専用ビューアー付属GPSあり/車速パルスケーブル付き
地図走行軌跡表示/運行管理ソフト付属

XLDR-88KG (簡易型)

- 専用ビューアー付属GPSあり
地図走行軌跡表示/運行管理ソフト付属



サブカメラ無	配線電源ケーブル	シガー電源ケーブル
運行管理連携型	XLDR-88URG-B	XLDR-88URG-S
標準型	XLDR-88HG-B	XLDR-88HG-S
簡易型	XLDR-88KG-B	XLDR-88KG-S
Rサブカメラ(リア)付	配線電源ケーブル	シガー電源ケーブル
運行管理連携型	XLDR-88URG-R-B	XLDR-88URG-R-S
標準型	XLDR-88HG-R-B	XLDR-88HG-R-S
簡易型	XLDR-88KG-R-B	XLDR-88KG-R-S
IRサブカメラ(車内)付	配線電源ケーブル	シガー電源ケーブル
運行管理連携型	XLDR-88URG-IR-B	XLDR-88URG-IR-S
標準型	XLDR-88HG-IR-B	XLDR-88HG-IR-S
簡易型	XLDR-88KG-IR-B	XLDR-88KG-IR-S

Rサブカメラ(リア)



IRサブカメラ(車内)



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 商品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容も予告なく変更する場合があります。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

目 次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
microSD カードご使用に関する注意事項	6
各部の名称とはたらき	7
内容物の確認	8
取り付け上の注意事項	9
ドライブレコーダーを取り付ける	10
車速パルス接続・設定 (HG/ URG)	12
録画の種類	13
microSD カード内ファイル構成	14
ドライブレコーダーを使う	15
機能設定画面	17
システム設定 (画面表示 / 録画面面 / タッチ補正)	18
システム設定 (暗証番号設定)	19
システム設定 (日時設定 / 音声設定)	20
システム設定 (バージョン情報 / 初期化)	21
システム設定 (メモリ割当)	22
システム設定 (センサー感度)	23
システム設定 (駐車録画)	24
システム設定 (録画設定)	25
システム設定 (録画再生)	26
録画時間の目安	27
音声案内一覧	28
ファームウェアアップデート	29
製品仕様	30
【付属】XLDR-88 ビューアー説明書	31

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を感知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を感知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

【駐車録画（駐車録画）に関するご注意】

駐車録画（駐車録画）は車両の常時電源を使用する為、車両バッテリーへの負荷が掛かります。以下に示す3項目に該当するお客様は車両バッテリー上がりの原因となりますので、駐車録画（駐車録画）の使用をお控え頂きますよう、お願い申し上げます。

- 毎日運転しない方
- 1日の走行が1時間以下の方
- 車両バッテリーを1年以上使用している方

上記は参考基準であり、お客様のお車及びバッテリー容量等によってはこの限りではございません。お車によってエンジンスタートに必要な電圧が異なりますので、メーカー等にご確認頂きご理解の上、駐車録画（駐車録画）の機能をご使用ください。

安全上のご注意

製品及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかるとの恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



付属のシガージャックケーブルが、シガーライターソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中にmicroSDカードを取り出すと記録データとmicroSDカードが破損する可能性があるので注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

microSD カードご使用に関する注意事項

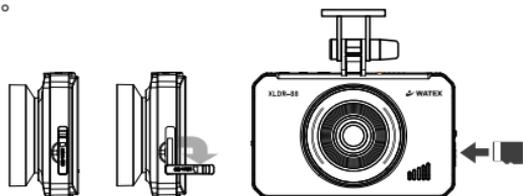
もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを (電源を)OFF にして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

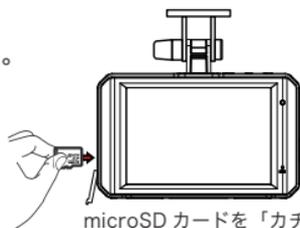
microSD カードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し LED ランプが消灯してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- 録画データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。



- microSD カードは定期的に交換が必要な消耗品です。何度も動画データを上書きしていくと、録画エラーが発生したり、記録した動画データが再生できなくなったりします。
- microSD の寿命を少しでも長くするため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

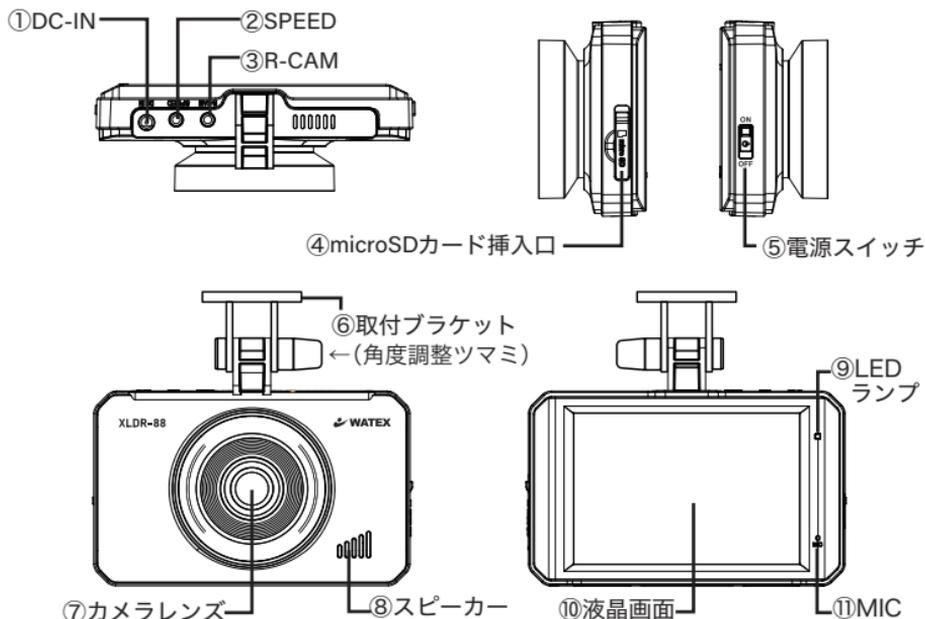


microSD カードを「カチッ」という音がするまで挿入する

各部の名称とはたらき

カメラ本体

※カメラの各端子には付属の専用のケーブル以外接続しないでください。
故障する恐れがあります。



- ① 電源接続端子 (DC-IN) 電源ケーブルを接続
- ② 車速パルス接続端子 (SPEED) . . . 車速パルスケーブルを接続 (HG/URG)
- ③ サブカメラ接続端子 (R-CAM) . . . サブカメラケーブルを接続 (R/IR)
- ④ microSD 挿入口 (電源を切ってから) ゴムカバーを外し横へ倒して、microSD カードを抜き差しする
- ⑤ 電源スイッチ 電源 ON/OFF
- ⑥ 取付ブラケット (角度調整ツマミ) . . ツマミを緩めて角度を調整し、ツマミを締めて固定
- ⑦ カメラレンズ 録画用 (使用前にフィルムを剥がしてください。)
- ⑧ スピーカー 音声案内・警告音 (ON/OFF 可能)
- ⑨ LED ランプ 録画状態を示すランプ
録画中：青点灯 駐車録画待機中：青点灯
イベント録画中 (駐車時含む)、手動録画中：赤点滅
再起動中：紫点滅 SD 未挿入 / エラー：紫点滅
アップデート中：赤点灯 システム設定中：赤点灯
SD 初期化：青点滅 電源オフ：消灯
- ⑩ 液晶画面 ライブ映像・録画再生、本体設定画面表示
- ⑪ MIC (マイク) 録音用マイク (ON/OFF 可能)

内容物の確認

- 商品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

セット内容 各タイプ共通

- 本体カメラ
(取付ブラケット付)



(本体に GPS 内蔵)

- 電源ケーブル

配線タイプ(B)
5m



駐車録画可能

シガータイプ(S)
4m



駐車録画不可

- ケーブルクリップ
4個



- microSD カード (32GB)
& SD 変換アダプター



- 保証書



- 取扱説明書



- 運行管理ソフト / 専用ビューアソフト



EMS 運行管理
システム
CD-ROM に収録



EMS 運行管理
システム
取扱説明書

- サブカメラ

(R)
リア (車外用)
接続ケーブル付属



9m

(IR)
車内用
赤外線付きタイプ



上
↑
2m

- 車速パルスケーブル
(HG/URG)



6m

取り付け上の注意事項

本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。

取付位置

- 取り付け位置は車両フロントガラス上部20%以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 付属の microSD カードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。
- 自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。

- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。
※道路運送車両の保安基準 第29条（窓ガラス）、細目告示第39条、第117条および第195条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

ドライブレコーダーを取り付ける

[設置・電源ケーブル配線時のご注意]

車両に TV フィルムアンテナがある場合、本体または各ケーブルを離して設置してください。

TV アンテナからカメラ本体を 12 cm 以上離す

本体カメラ設置

(サブカメラケーブルも同様)

TV フィルムアンテナから本体を 12 cm 以上離して設置してください。

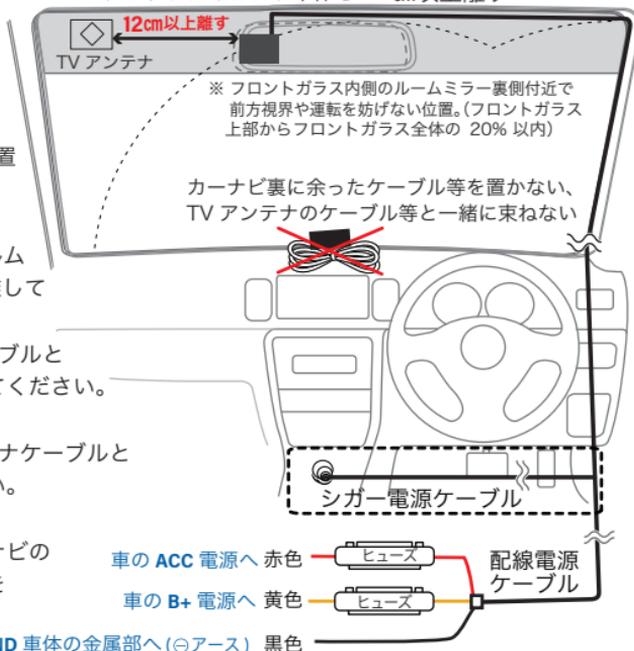
電源ケーブルは TV フィルムアンテナから 10 cm 以上離して配線してください。

TV フィルムアンテナケーブルと逆方向に引き回し配線してください。

また、TV フィルムアンテナケーブルと一緒に束ねないでください。

電源の配線は内部でカーナビの近くに余ったケーブル類を束ねないでください。

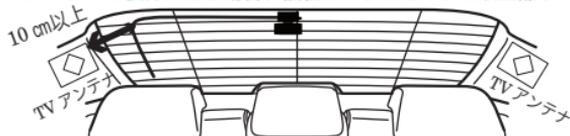
GND 車体の金属部へ(⊖アース) 黒色



[サブカメラ設置] (R) リアカメラタイプの設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にレンズを車外(後方)に向けて設置してください。

TV アンテナが後方にある場合、接続ケーブルを 10 cm 以上



※脱脂クリーナーなどでリアガラスを清掃し、よく乾かした後貼付けてください。サブカメラを本体カメラと接続してください。両面テープがカメラ側に来るようにブラケットを回してレンズが車外に向くようにガラス面に貼りつけます。



ブラケットの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整し調整後にネジを締めてください。

サブカメラの上下の角度は本体ドライブレコーダーの液晶画面で後方車のナンバーが確認できるように調整してください。



(IR) 赤外線カメラ設置

車内などの撮影したい場所にブラケットの両面テープを剥がして貼って角度を調整してください。



角度調整



ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

【仮留め・テスト録画】

カメラ本体に電源ケーブル、サブカメラ接続ケーブル、車速パルスケーブル等を配線し、ブラケットを両面テープで貼り付け設置します。両面テープは粘着力が強いため、しっかり貼り付ける前に、いったん養生テープなどで仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。

【取り付け方法】ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。

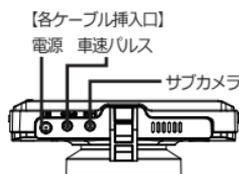


取付ブラケットの角度調整ツマミを緩めた状態で仮留め後、角度調整をし、調整後にツマミを締めます。液晶の映像を確認して本体と道路が垂直になるように角度を調整してください。



※フロントガラスを脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。

両面テープのハクリ紙をはがしてブラケットをフロントガラスに貼りつけます。

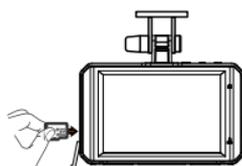


【各ケーブル挿入口】

電源 車速パルス

サブカメラ

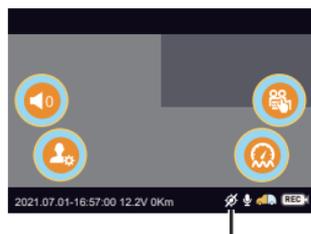
お買い上げの機種に付属している電源ケーブル、サブカメラケーブル、車速パルスケーブルなどを運転の支障にならないよう配線してください。



microSD カードを「カチッ」という音がするまで挿入

フロントカメラ、サブカメラの取付終了後、microSD カードを挿入して、エンジンを掛けて、GPS の受信状態や録画状態を確認してください。

録画したデータを再生確認してください。(録画再生 26 ページ)



電源ON後、本体液晶画面でGPS受信状態の確認を行う

GPS 受信中

GPS 未受信

電源ON後、車速設定を行う (12 ページ参照)

車速パルス接続・設定 (HG/URG)

【車速パルス接続例】 対応機種：XLDR-88HG、XLDR-88URG

❗ 車速センサーケーブルの取り付けは、危険を伴いますのでお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。事前に車両の配線図を入手した上、車速パルス取り出し位置を確認してください。

1. バッテリーのマイナスアースを外す

❗ 不用意にショートすることを防止するために必ず実施してください

2. 車両側の車速パルスケーブルの被覆をワイヤストリッパーで剥く (1 cm程度)

❗ 芯線に傷をつけないように注意してください

3. 車速センサーケーブルの「Speed」を車速パルスケーブルに巻きつける

❗ 半田付けやカシメ接続などにより外れないように接続してください

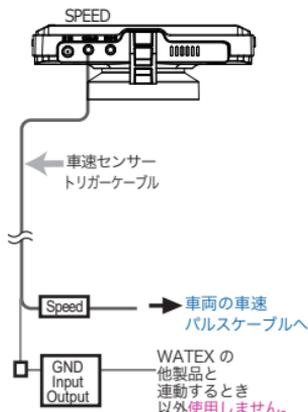
❗ 市販のエレクトロタップ等の接続具は推奨しません

4. 接続箇所をビニールテープを巻き、絶縁する

❗ 金属部分が露出したままでは、重大事故につながる恐れがあります

5. 本体に車速センサーケーブルを接続する

6. バッテリーのマイナスアースを元に戻す



【車速パルス設定方法】

ご購入時一度だけ設定をお願いします

HG、URGのみ行う設定です。

※車速パルスケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

初めての使用時に、エンジンを掛けて電源をONにして以下のように走行してください。

①GPS電波を受信すると「GPSを受信しました」というメッセージが流れます。その後、時速40～60kmの範囲内で1分以上走行してください。正しく車速が設定されると「車速設定が完了しました」というメッセージが流れます。

※何らかのエラーがあった場合、「車速設定エラーです」というメッセージが流れますので、再設定をお願いします。

②設定終了後、最初に時速60kmに到達したとき「現在の速度は60kmです」というメッセージが流れますので速度計の値をご確認ください。

※著しく車速が異なっていた場合には再設定をお願いします。

《再設定方法》

ドライブレコーダー本体の車速設定  をタッチして車速設定を解除します。

→メッセージ「車速設定が解除されました」
車速パルス設定を始めから設定してください。

※正しく設定できていないとき以外は再設定を行わないでください。

【お願い】本製品はGPSを利用し車速設定を自動調整します。確実にGPSを受信してから、時速40km～60kmで約1分間走行してください。



録画の種類

電源 ON で常時録画＋イベント録画がスタートします。

常時録画

電源 ON から OFF まで常に録画を続けます。microSD カードの容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

※常時録画の 1 ファイルの容量は約 2 分



イベント (衝撃) 録画

衝撃時 (G センサーが衝撃を検知したとき) や手で録画したときは、1 ファイル約 30 秒 (前 10 秒、後 20 秒) のファイルが Event フォルダに保存されます。

電源 OFF で常時録画＋イベント録画を終了します。

駐車録画に移行するには、シガー電源ではなく配線ケーブルで常時電源から電源を供給する必要があります。そのためバッテリーの充電状況が万全でない状態で使用すると、既定の電圧 (12.2/24.3V) 以下に低下すると駐車録画を終了します。

駐車録画

電源ケーブル (配線タイプ) のみ機能

[※設定：駐車録画 / 駐車録画機能：ON のとき]

○駐車録画機能 OFF/ON が設定できます。

○駐車録画の録画可能時間について 最大 3 時間の駐車録画ができます。

既定の電圧 (12.2V/24.3V) を下回った場合、3 時間以内でも録画を終了します。
駐車録画中、本体が高温になった場合、3 時間以内でも録画を終了します。

車両のエンジン停止後、1 ファイル 2 分の常時録画を続けます。(最大 3 時間)
(G センサー) で衝撃を検知したときは別ファイル名で保存します。

【衝撃 (G センサー)】車が衝撃を検知したとき

1 ファイル約 30 秒 (前 10 秒、後 20 秒) のファイルを保存



microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画、駐車録画、それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。

microSD カード内ファイル構成

1) microSDカードに保存された動画ファイル名の構成

microSD カードの各フォルダに保存された動画のファイル名で録画の日時、録画形式 (常時録画、イベント録画、駐車録画) を確認することができます。

microSD カード内の録画映像フォルダの中のファイル名の例

例) S210727_164929FN.AVI

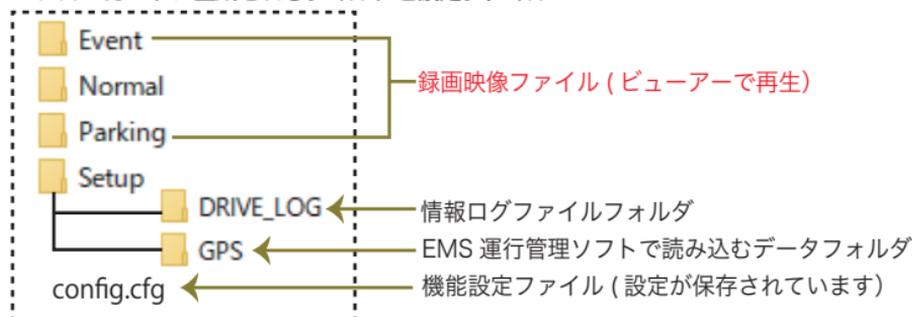
S	21	07	27_	16	49	29	FN
	年	月	日	時	分	秒	録画方式
	2021年	7月	27日	16時	49分	29秒	常時録画

録画形式	FN	Normal	常時録画
	FE	Event	イベント (衝撃、手動) 録画
	FP	Parking	駐車録画
	FPE	Parking/Event	駐車録画中のイベント時

2) フォルダ構造とファイル構成

- Normal フォルダ (常時録画)
- Event フォルダ (イベント録画)
- Parking フォルダ (駐車録画)
- SETUP フォルダ (録画映像の情報ログファイル、GPS Data)
- config.cfg・・・機能設定ファイル (本体の設定を保存)

microSD カードに生成されるフォルダと設定ファイル



ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源が ON になります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



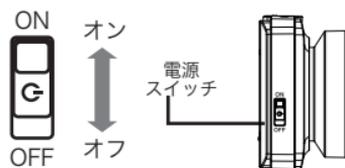
microSD カードを「カチッ」という音がするまで挿入する

❗ microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。(22 ページ参照)

2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源が ON になります)

手動 エンジンをかけた状態で電源スイッチを OFF にすると電源が切れます。再び、電源スイッチを ON にすると電源が入ります。電源を切ると録画されません。



3) 常時録画を開始 (電源スイッチを ON にしておいてください)

①常時録画

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と撮影を開始します。

②衝撃検知による録画 (イベント録画)

本体内部の G センサーが設定値以上の衝撃を検知した場合、前後の記録をイベント録画として保存します。(23 ページセンサー感度 参照)

③録画停止

車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源 ON 時に電源スイッチをオフにしても録画を停止します。再び電源スイッチを ON にすると電源が入って録画を再開します。

4) 駐車録画 (配線電源接続時のみ) (駐車録画機能: ON のとき) (最大 3 時間)

エンジンを切ったあとに駐車録画に入ります。常時録画および衝撃録画を保存します。

駐車録画開始から 3 時間で録画を終了し電源が OFF になります。

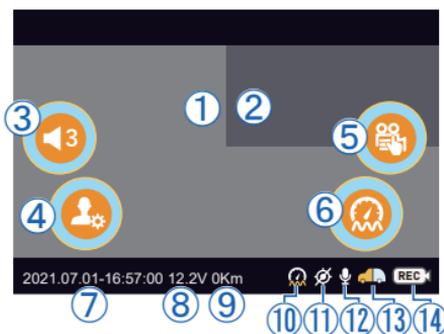
※電源スイッチ ON 時のみ録画します。

※駐車録画中、電圧が 12V 車は 12.2V、24V 車は 24.3V を下回るとバッテリー保護のため、3 時間以内でも録画を終了します。

※駐車録画中、本体が高温になった場合、3 時間以内でも録画を終了します。

ドライブレコーダーを使う (つづき)

5) 液晶画面 ライブ画面：本体起動後、録画中の画面が表示されます。



-  スピーカー音量
-  機能設定 (暗証番号 ON/OFF あり)
-  手動録画
-  車速設定解除

①	録画面 (大)	初期設定はフロントカメラ映像 (設定で変更可能)	
②	録画面 (小)	初期設定はサブカメラ映像 (設定で変更可能) 液晶画面②をタッチすると画面表示が切り替わります。 フロント(大)サブ(小)→サブ(大)フロント(小)→フロント全画面→サブ全画面→	
③	音量：0～5	タッチするたびに音量を変更 (0 は音量 OFF)	
④	機能設定	機能設定 (17ページ参照) (暗証番号設定 ON/OFF あり)	
⑤	手動録画	タッチしてイベント録画を開始	
⑥	車速設定解除	タッチして車速設定解除	
⑦	日時	現在の日時表示	
⑧	電圧	現在の電圧表示	
⑨	車速	現在の車速表示 (車速パルスまたは GPS 接続時)	
⑩	車速パルス接続	 車速設定完了	非表示：車速パルス未接続 / 車速未設定
⑪	GPS 受信状態	 GPS 受信中	 GPS 未受信
⑫	録音状態	 録音中	 録音しない
⑬	前後カメラ録画状態	 前後録画	 前のみ録画 (サブカメラ未接続 / サブカメラ録画オフ)
⑭	録画状態	 常時録画中	 (赤) 衝撃録画中  手動録画中

④機能設定画面に、暗証番号を設定できます。暗証番号を設定した場合、左下図のようになります。



【暗証番号画面】 暗証番号入力後 OK をタッチ



【機能設定画面】 タッチして設定 (詳細は 17 ページ)

機能設定画面



機能設定 (暗証番号設定 ON/OFF あり)

暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19ページ参照



設定したい項目をタッチして選択します。
機能設定項目は下記の通りです。

				初期値
システム 	画面 暗証番号 (機能設定画面用)	画面表示	1分後画面OFF/常時ON/1分後時計画面	常時ON
		録画面面	フロント/サブ,サブ/フロント,フロント,サブ	フロント/サブ
		タッチ補正	十字マークに沿って中央を押す	—
		暗証番号	ON/OFF(OFF時、暗証番号設定)	OFF
	GPS日時	GPS	ON/OFF(OFF時、日時設定)	GPS ON
	音声 	スピーカー音量	●●●○○ 0~5段階	3
		録音設定	ON/OFF	ON
システム 	バージョン	バージョン情報を表示	—	
	初期化	システム設定を初期化	—	
メモリ割当 	常時録画重視	60/20/20	常時/駐車/イベントの割合(%)	常時録画重視 ※
	駐車録画重視	50/30/20	※割当を変更するとSDフォーマットが行われます。(録画データ消去)	
	イベント録画重視	50/20/30		
	フォーマット	—	※録画データが消去されます	
センサー感度 	常時センサー感度	●●●○○	1/2/3/4/5 (鈍感⇔敏感)	3
	駐車センサー感度	●●●○○	1/2/3/4/5 (鈍感⇔敏感)	3
駐車録画 	駐車録画機能	OFF/ON		OFF
	放電遮断電圧	12.2/24.3V	選択なし	固定
録画設定 	解像度	FHD/HD	FHD(約200万画素)/HD(約100万画素)	FHD ※
	録画フレーム数	4.9/19.1/29.1		29.1
	サブカメラ録画	ON/OFF		ON ※
	HDR	ON/OFF		ON
	ナイトビジョン	ON/OFF	(フロントカメラのみ設定可能)	ON
録画再生 	常時	録画データを本体液晶に再生します。		
	イベント			
	駐車			

※メモリ割当、解像度、録画フレーム数を変更するとき、SDフォーマットが行われます。

システム設定 (画面表示 / 録画面面 / タッチ補正)



機能設定 / システム

暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19ページ参照



システム 画面・暗証番号設定 / GPS・日時設定 / 音声設定 / システム設定



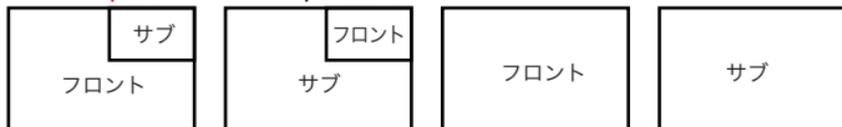
設定したい項目をタッチして選択します。

画面 暗証番号
GPS 日時
音声 システム

画面・暗証番号設定

- 画面表示** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。
 - ・ 1分後画面OFF・・・録画中、無操作状態から1分経過後、液晶画面が消灯します。
 - ・ 常時ON・・・録画中、液晶画面は常に録画ライブ映像が表示されます。
 - ・ 1分後時計画面・・・録画中、無操作状態から1分経過後、液晶に時計画面が表示されます。
- 録画面面** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

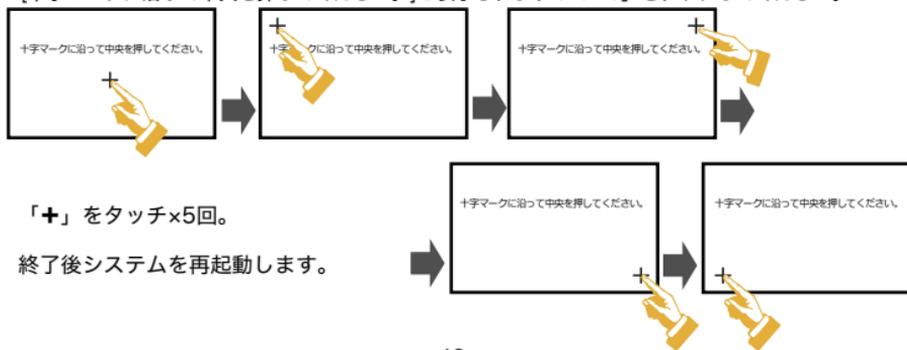
- ・ フロント/サブ
- ・ サブ/フロント
- ・ フロント
- ・ サブ



※録画設定のサブカメラ録画を OFF にしている場合、サブ画面が表示されません。

タッチ補正

タッチパネルで思うような操作ができない場合は、タッチ補正を行ってください。
[十字マークに沿って中央を押してください。]と表示されますので「+」をタッチしてください。



システム設定（暗証番号設定）



機能設定 (LIVE 画面をタッチすると表示される) / システム /

暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19 ページ参照

④ 暗証番号設定

ドライブレコーダー本体で機能設定を行うときの暗証番号設定です。



暗証番号設定

- ・OFF・・・暗証番号設定をしない。
- ・ON・・・暗証番号設定をする。(4桁数字の暗証番号を設定してください。メモに控えておくなどして、忘れないようにしてください。忘れてしまったときは、パソコンで専用ビューアーから暗証番号設定をOFFに設定してください。)



暗証番号設定を ON にしたとき

機能設定画面に入るときの暗証番号を設定します。お買い上げ時には設定されていません。

暗証番号を設定する場合 [OK]

暗証番号を設定しない場合 [キャンセル]



◆暗証番号を設定する場合

4桁の番号を入力してOK ボタンをタッチします。暗証番号を設定した後は、機能設定画面に入るときに、暗証番号が必要になります。

- ・登録した暗証番号は、忘れないようにメモしてください。
- ・暗証番号を忘れた場合ビューアーの設定画面で暗証番号をOFFにしてください。



設定終了後、左図のような画面が表示されます。

システム設定（日時設定 / 音声設定）

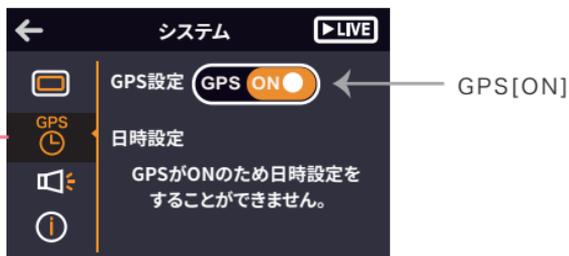


機能設定 (LIVE 画面をタッチすると表示される) /  システム /  GPS
暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19 ページ参照

GPS 日時設定 (常に GPS を ON にしてください)

GPS[ON] で日時を取得するので設定不要です。

どうしても GPS を OFF にしなければならない場合は、 \wedge \vee で調整してください。



機能設定 (LIVE 画面をタッチすると表示される) /  システム /  音声設定
暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19 ページ参照

音声設定



- ① **スピーカー音量** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。0～5 まで音量を選択できます。



- ② **録音設定** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

- ・ ON・・・録画中、音声を録音します。
- ・ OFF・・・録画中、音声を録音しません。

システム設定（バージョン情報 / 初期化）



機能設定 (LIVE 画面をタッチすると表示される) / システム / ①
暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19 ページ参照

① システム設定



① モデル名、バージョン情報

製品型式やバージョン情報を確認できます。



② 初期化

全ての設定値を初期化します。

(17 ページ初期値参照)

※メモリ割当、解像度、画質、録画フレーム数を初期値から変更している場合、microSD カードがフォーマットされます。
必要なデータはあらかじめ保存してください。

システム設定（メモリ割当）



機能設定 / メモリ割当

暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19ページ参照

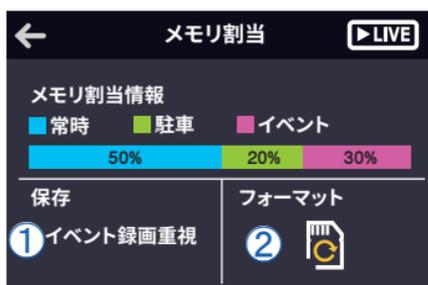
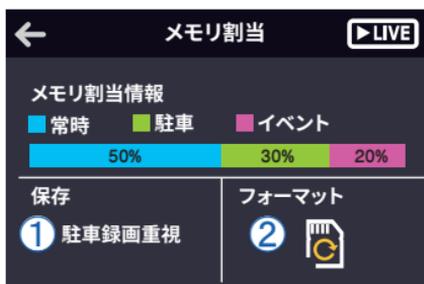
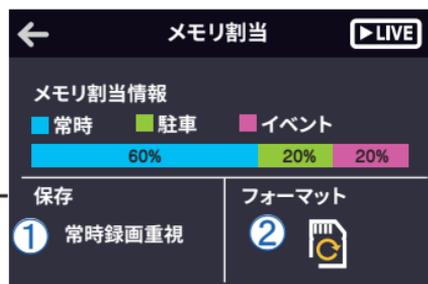
メモリ割当 メモリ割当の変更、またはSDフォーマットをするときにタッチしてください。



※メモリ割当を変更するときは microSD カードがフォーマットされます。
必要なデータは予め保存してください。

① 常時録画重視 / 駐車録画重視 / イベント録画重視

タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。



② フォーマット

タッチするとSDカードをフォーマットします。
録画データが消えてしまうので、必要なデータはバックアップしてください。



システム設定（センサー感度）



機能設定 / センサー感度

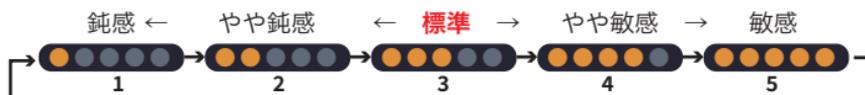
暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19ページ参照

センサー感度 常時録画または、駐車録画のセンサー感度を設定します。



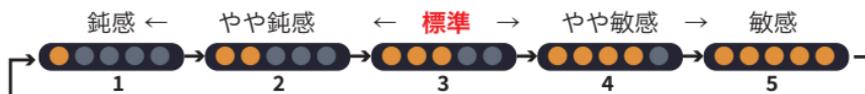
① **常時センサー感度** 常時録画中のイベント録画の感度を設定します。

タッチするたびに感度の値がプラスされます。表示されている設定値が適用されます。



② **駐車センサー感度** 駐車録画中のイベント録画の感度を設定します。

タッチするたびに感度の値がプラスされます。表示されている設定値が適用されます。



システム設定（駐車録画）



機能設定 / 駐車録画

暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19 ページ参照

駐車録画 駐車録画機能の ON（駐車録画する）/OFF（駐車録画しない）を設定します。



① **駐車録画機能** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

・OFF・・・駐車録画をしません。
エンジン停止後、電源はオフになります。

・ON・・・駐車録画をします。
エンジン停止後、最大3時間、常時録画と衝撃録画を行います。

② **放電遮断電圧 12.2V/24.3V** 設定はできません。

駐車録画中、電圧が12V車は12.2V、24V車は24.3Vを下回るとバッテリー保護のため、電源がオフになります。そのまま、駐車録画は終了します。

システム設定（録画設定）



機能設定 / 録画設定

暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19ページ参照

録画設定 録画設定をタッチし、録画設定画面で設定したい項目をタッチします。



※①解像度、②録画フレーム数を変更するときは microSD カードがフォーマットされます。
必要なデータは予め保存してください。

① **解像度** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

- ・ **FHD** (1920×1080) 約200万画素
- ・ **HD** (1280×720) 約100万画素

動画の解像度とは画素のことです。縦×横のピクセル数で表示されます。数値が大きいほど解像度は高くなりますが録画時間は短くなります。大きくするほど高いビットレートが必要になります。

③ **録画フレーム数** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

- ・ 4.9
- ・ 19.1
- ・ **29.1**

1秒間の動画で見せる静止画の枚数（コマ数）です。単位は、「FPS」で、「コマ / 秒」を表します。数値が大きいほどなめらかな映像になります。しかし、フレーム数値が大きいとデータ量が多くなるため、記録可能時間が短くなります。

④ **サブカメラ録画** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

- ・ **ON** ……サブカメラ録画をする
- ・ **OFF** ……サブカメラ録画をしない

OFFにするとフロントカメラのみの録画になります。

⑤ **HDR** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

- ・ **ON** ……HDR設定をする
- ・ **OFF** ……HDR設定をしない

HDR設定とは、白とび、黒つぶれ等を軽減するモードです。
※フロントカメラ、Rサブカメラ(リア)は、設定可能

⑥ **ナイトビジョン** タッチするたびに切り替わります。表示されている設定が適用されます。

- ・ **ON** ……（フロントカメラ）設定する
- ・ **OFF** ……（フロントカメラ）設定しない

ナイトビジョン設定とは、夜間、トンネル内など、少ない光量での映像撮影に適したモードです。（フロントのみ）

※フロントカメラのみ設定可能
Rサブカメラ(リア)は常時ナイトビジョン ON 状態（設定不可）

システム設定（録画再生）



機能設定 / 録画再生

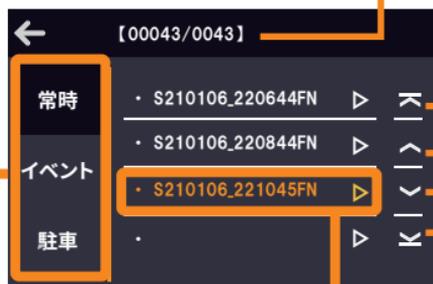
暗証番号を設定した場合、機能設定画面に暗証番号なしでは入れません。[暗証番号設定]19 ページ参照

録画再生 録画した映像を本体液晶に再生します。



【録画再生一覧】画面へ

【録画再生一覧】



録画ファイル番号 / 録画ファイル総数

常時

・ S210106_220644FN ▶

一番最初のファイルへ

イベント

・ S210106_220844FN ▶

ひとつ前のファイルへ

駐車

・ S210106_221045FN ▶

ひとつ後のファイルへ

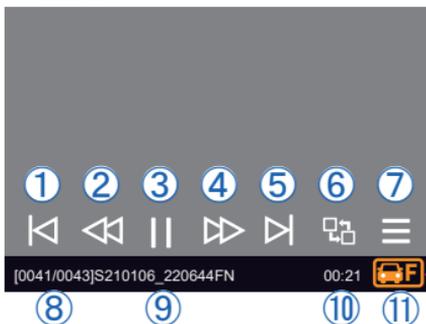
・

一番最後のファイルへ

常時録画、イベント録画、駐車録画に分かれているので見たい録画をタッチ

再生したいファイルをタッチすると再生画面で再生します。

【再生画面】



①前のファイルを再生

②再生中 10 秒戻る

③一時停止 / 再生

④再生中 10 秒進む

⑤次のファイルを再生

⑥前後カメラの入替再生
(同じ時間のファイル再生)

⑦ひとつ前の画面に戻る【録画再生一覧】

⑧録画ファイル番号 / 録画ファイル総数

⑨録画ファイル名

⑩録画ファイルの再生時間

⑪(F) フロント / (R) サブカメラ再生中表示

録画時間の目安

microSD カード 32GB、常時録画重視の場合 (初期設定)

常時録画: 60% 駐車録画: 20% イベント録画: 20%

カメラ数	解像度	フレームレート(fps)	常時 (60%)	駐車 (20%)	イベント (20%)
2カメラ	FHD	29.1	約135分	約45分	約45分
		19.1	約195分	約65分	約65分
		4.9	約570分	約190分	約190分
	HD	29.1	約275分	約90分	約90分
		19.1	約390分	約130分	約130分
		4.9	約895分	約300分	約300分
1カメラ	FHD	29.1	約250分	約80分	約80分
		19.1	約350分	約115分	約115分
		4.9	約845分	約280分	約280分
	HD	29.1	約475分	約155分	約155分
		19.1	約625分	約210分	約210分
		4.9	約1160分	約385分	約385分

microSD カード 32GB、駐車録画重視の場合

常時録画: 50% 駐車録画: 30% イベント録画: 20%

カメラ数	解像度	フレームレート(fps)	常時 (50%)	駐車 (30%)	イベント (20%)
2カメラ	FHD	29.1	約110分	約70分	約45分
		19.1	約160分	約100分	約65分
		4.9	約475分	約285分	約190分
	HD	29.1	約225分	約140分	約90分
		19.1	約325分	約195分	約130分
		4.9	約745分	約450分	約300分
1カメラ	FHD	29.1	約205分	約125分	約80分
		19.1	約290分	約175分	約115分
		4.9	約700分	約425分	約280分
	HD	29.1	約390分	約240分	約155分
		19.1	約520分	約315分	約210分
		4.9	約965分	約580分	約385分

microSD カード 32GB、イベント録画重視の場合

常時録画: 50% 駐車録画: 20% イベント録画: 30%

カメラ数	解像度	フレームレート(fps)	常時 (50%)	駐車 (20%)	イベント (30%)
2カメラ	FHD	29.1	約110分	約45分	約70分
		19.1	約160分	約65分	約100分
		4.9	約475分	約190分	約285分
	HD	29.1	約225分	約90分	約140分
		19.1	約325分	約130分	約195分
		4.9	約745分	約300分	約450分
1カメラ	FHD	29.1	約205分	約80分	約125分
		19.1	約290分	約115分	約175分
		4.9	約700分	約280分	約425分
	HD	29.1	約390分	約155分	約240分
		19.1	約520分	約210分	約315分
		4.9	約965分	約385分	約580分

音声案内一覧

□ (音声案内オフの可/不可)

オフ	音声案内	ドライブレコーダの状態	LED
可	常時録画を開始します。	電源ONで常時録画を開始したとき	青点灯
可	録画を終了します。	機能設定画面に入るとき	赤点灯
可	システムを終了します。	電源OFF時 (ACC OFF)	消灯
可	駐車録画に切り替えます。	駐車録画ON時、ACC OFFにしたとき	消灯青赤青 ※消灯赤青
可	駐車録画を開始します。	駐車録画を開始するとき	青点灯
可	常時録画に切り替えます。	駐車録画中、エンジンONになったとき 機能設定画面からLIVE画面に戻ったとき	青点灯
可	ピンポン	衝撃録画・手動録画のとき	赤点滅
不可	GPSを受信しました。	GPSを受信したとき	青点灯 ※赤点滅
不可	システム設定を初期化します。	機能設定のシステムの初期化を選択したとき	赤点灯
可	サブカメラが接続されました。	サブカメラを接続したとき	青点灯 ※赤点滅
可	サブカメラが取り外しされました。	サブカメラを取り外したとき	青点灯 ※赤点滅
可	サブカメラが認識されません。	電源を入れてサブカメラを認識しないとき	青点灯 ※赤点滅
不可	メモ리카ードのフォーマットをお勧めします。	microSDカード挿入時、フォーマット形式が違う場合(本体でフォーマットをしないと使用不可)	赤点灯
不可	メモ리카ードを初期化しています。フォーマットが完了しました。システムを再起動します。	microSDカードをフォーマットして再起動するとき	赤青点滅 (再起動) 紫点滅 赤→紫→赤
不可	メモ리카ードがありません。	microSDカード未挿入のとき	紫点滅
不可	メモ리카ードエラーです。	microSDカードエラーのとき	紫点滅
可	高温遮断機能が働きました。システムを終了します。	(駐車録画中) 本体が高温になりシャットダウンするとき	消灯
可	車両バッテリー放電の恐れがあります。システムを終了します。	駐車録画中、電圧が既定値以下になったとき または、駐車録画時間が3時間になったとき	消灯
不可	アップグレードを開始します。電源を切らないでください。システムを再起動します。	ファームウェアをアップデートするとき アップデート完了したとき	赤点灯 消灯→赤
可	速度にご注意ください。	初期値または、EMS運行管理ソフトで設定したエコドライブ速度設定の値を越えたとき	青点灯 ※赤点滅
可	長時間アイドリングが続いています。	初期値または、EMS運行管理ソフトで設定した停車の値を越えたとき	青点灯 ※赤点滅
不可	車速設定が完了しました。	車速設定が完了したとき	青点灯 ※赤点滅
不可	車速設定エラーです。	車速設定エラーのとき	青点灯 ※赤点滅
不可	車速設定が解除されました。	車速設定を解除したとき	青点灯 ※赤点滅
不可	現在の速度は60キロです。	車速設定後、速度が60キロになったとき	青点灯 ※赤点滅

※イベント録画(衝撃・手動)中

ファームウェアアップデート

【ファームウェアのアップデート】

ファームウェアをアップデートすることにより、ドライブレコーダーを最新の状態に更新することができます。新しいファームウェアの情報は随時弊社ホームページに掲載されますのでご確認ください。

※大切な録画データがある場合は、必ず録画データを、パソコンに保存してからアップデートを行なってください。

◆ファームウェア更新の前に必ずお読みください。

本体のバージョンアップ中は絶対に電源を切ったり、microSD カードを抜いたりしないでください。本体故障の原因となります。

ファームウェアバージョンアップ完了後、microSD カード内のファームウェアファイルは自動的に削除されます。

◆必要なもの

microSD カード / パソコン (対応 OS : Windows 8/8.1/10)

〈ファームウェアのアップデート方法〉

- 1) 最新のファームウェアをホームページよりパソコンにダウンロードします。ファームウェア(XLDR88.BRN)をmicroSDカードの直下に保存し、電源をOFFにしたドライブレコーダーに挿入します。
- 2) ドライブレコーダーの電源を接続します。(車のエンジンをかける)
- 3) 暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。「アップグレードを開始します。電源を切らないでください。」と音声案内があり、アップデートを開始します。
- 4) アップデートが完了すると自動的に再起動します。再起動後、録画を開始します。

❗ ご注意 アップデート中は絶対に電源を切らないでください。

途中で電源が切れた場合、故障の原因となる場合があります。

ACC電源を利用してアップグレードをしているときは、終了するまで車両の電源が切れないようご注意ください。

製品仕様

	メインカメラ	R サブカメラ (リア)	IR サブカメラ (車内)
外径 (mm)	105(W)×65(H)×35(D)	約 60(W)×55(H)×27(D)	約 60(W)×55(H)×27(D)
重量 (g)	約 140g (SD カード含む)	約 30 g	約 30 g
映像素子	200 万画素 SONY STARVIS IMX307 C-MOS センサー	200 万画素 SONY STARVIS IMX307 C-MOS センサー	200 万画素 C-MOS センサー
カメラ感度	5LUX(@30IRE)	5LUX(@30IRE)	3.5LUX
カメラ画角	水平 115°, 垂直 60°, 対角 135°	水平 115°, 垂直 60°, 対角 135°	水平 104°, 垂直 56°, 対角 130°
録画解像度	1920×1080(FullHD) 1280×720(HD)	1920×1080(FullHD) 1280×720(HD)	1920×1080(FullHD) 1280×720(HD)
液晶	3.5 インチタッチパネル (480×320)	—	—

録画ファイル	AVI (常時録画 1 ファイル 2 分、イベントまたは手動録画 前 10 秒 / 後 20 秒)		
駐車監視	3 時間 固定 / (バッテリー低電圧保護 12.2V/24.3V) 常時およびイベント録画		
GPS センサー	3D 測位位置検出方式 (本体内蔵) GLONASS、みちびき受信対応		
録画フレーム	29.1fps / 19.1fps / 4.9fps		
ナイトビジョン	前方: ON/OFF 設定あり、後方は常時 ON (設定なし)		
HDR	前方・後方 ON/OFF 設定あり	ノイズ対策	VCCI B 取得予定
加速度センサー	3 軸加速度センサー	センサー感度	1 ~ 5 の 5 段階設定
手動録画機能	あり	音声案内機能	あり
外部入力機能	車速、サブカメラ	外部出力機能	なし
録音機能	ON/OFF 設定あり	スピーカー出力	音量調整あり
電源電圧	DC9V ~ DC36V	消費電力	約 5W
動作温度	-10°C ~ +60°C	保存温度	-20°C ~ +70°C
SD カード管理	フォーマットフリー	対応 microSD	16GB ~ 256GB
記録データ	映像、音声、加速度センサー、GPS (日付、速度、位置、車速情報)、 【HG、URG】車速パルス (速度)		
動作ログ保持	GPS (位置情報) は 1 秒に 1 回記録、GOG 記録も 1 秒に 1 回、 GOG は 20 日間保存 (20 日以上は上書き)、車速パルスは 2 回 / 秒で記録		
PC 環境	windows 8 / 8.1 / 10		
付属品	電源ケーブル (配線 5m、シガー 4m)、ケーブルクリップ×4 個 (両面テープ付き)、 取扱説明書、保証書、microSD カード (32GB)、SD 変換アダプタ、専用ビューアー、 EMS 運行管理システム CD-ROM、 【HG、URG】車速パルスケーブル (6m)、 サブカメラ付き型番は、 【R】リアカメラ (接続ケーブル 9m) または 【IR】サブカメラ (ケーブル 2m) 付属		

XLDR-88 ビューアー説明書

インストールの前に

インストールの前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。

- ・ハードディスクに、使用する microSD カードの容量を超える空きがあること
- ・OS が、Windows 8、8.1、10 (32bit/64bit) であること

目次

準備しましょう

ビューアーのインストール方法	33
----------------------	----

使ってみましょう

ビューアーを開きパスワードを設定	34
基本操作	35
ビューアー画面の見方	36
ドライブレコーダー本体の各種設定変更	38

専用ビューアーソフトは、付属の CD-ROM に収録されています。

付属の CD-ROM

└─ [install_WATEX_XLDR-88_Viewer_ver_*.*.*.exe]

* 付属の CD-ROM を紛失してしまった場合は、弊社ホームページよりビューアーをダウンロードしてください。

* 最新のビューアーは弊社ホームページにて不定期に更新されます。

ビューアーのインストール方法

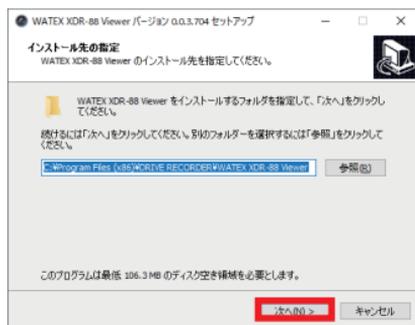
CD-ROM 内のインストールファイルを実行してパソコンに専用ビューアソフトをインストールする

- 1 専用ビューアーが格納された付属の CD-ROM をパソコンにセットする
* 付属の CD-ROM を紛失、フォーマットしてしまった場合は、
弊社ホームページよりダウンロードしてください。

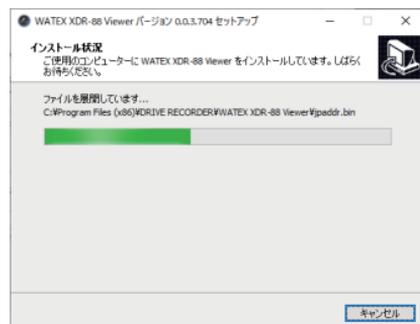
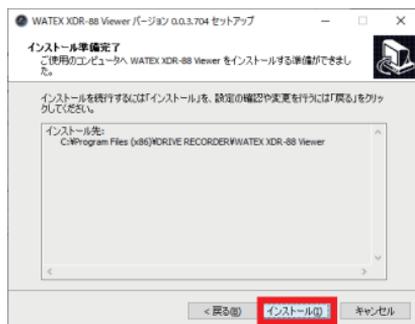
- 2 CD-ROM 内の「install_WATEX_XLDR-88_Viewer_ver_*.*.*.exe」
をダブルクリックする



- 3 インストール画面が表示されたら
[次へ] ボタンをクリック



- 4 インストール先フォルダを確認して、
[インストール] をクリック



- 5 インストール完了後、[完了] ボタンをクリック



- 6 ショートカットがパソコンの
デスクトップ上に作成される



ビューアーを開きパスワードを設定

【初回】ビューアーの起動

- 1 インストールした専用のビューアーソフト「WATEX XLDR-88 Viewer」のアイコンをダブルクリックしてビューアーを起動する



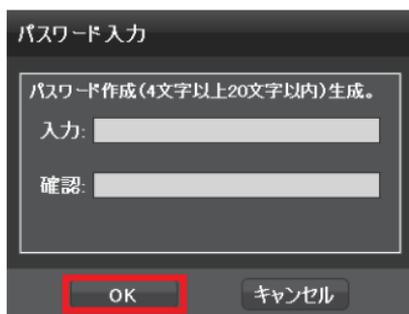
ダブルクリック

ドライブレコーダー「XLDR-88」
専用ビューアーのアイコン

パスワード入力

ビューアーソフトのパスワードを設定します。毎回起動時に必要になります。

- 2 ドライブレコーダー XLDR-88 専用ビューアーのパスワード入力画面が起動する

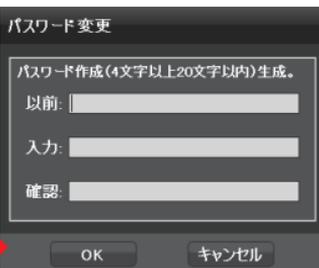


パスワード（4文字以上20文字以内）を決めて入力してください。
確認欄に同じ文字を入力して [OK] ボタンをクリックしてください。

[OK] ボタンをクリックするとパスワードが記録されビューアーが起動します。



- 3 次回起動時以降、今回作成したパスワードを入力する



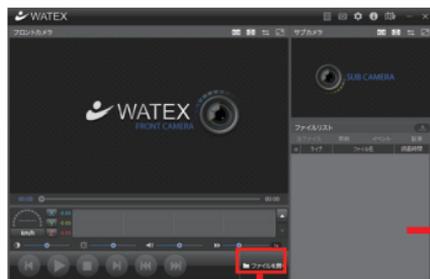
パスワードを変更する場合変更をクリックして新しいパスワードを作成してください。

基本操作

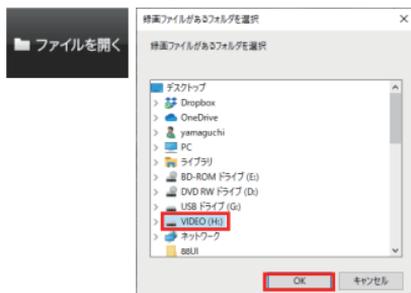
ファイルの読み込み

- 1 録画ファイルの入った microSD カードをパソコンにセットする
ドライブレコーダーで録画したファイルをビューアーに読み込みます。
あらかじめ録画ファイルが入った microSD カードを用意しておきます。

- 2 ビューアーを起動する
アイコンをダブルクリックして、パスワード
を入力し、ビューアーを起動します。



- 3 [ファイルを開く] ボタンをクリックしてファイルを開く



microSD カードのドライブを選択して、
[OK] ボタンをクリックする

ファイルリストに microSD カード内の
録画ファイルが読み込まれます。

- 4 ファイルリストから再生するファイルを選んでダブルクリックする
録画ファイルの再生が開始されます。

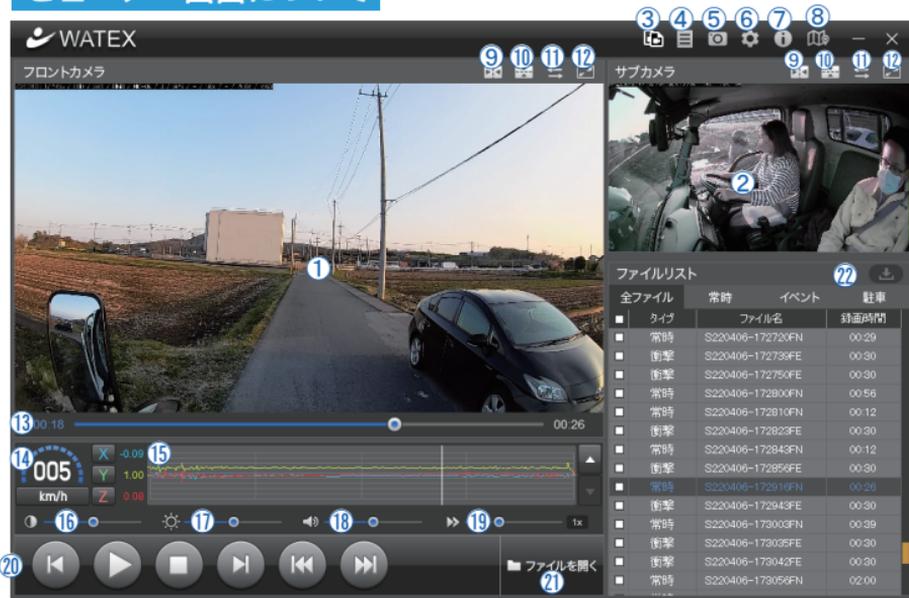


ファイルリスト			
全ファイル	常時	イベント	駐車
■	タイプ	ファイル名	録画時刻
■	常時	S210902-185910FN	02:00
■	常時	S210902-190110FN	02:00
■	常時	S210902-190310FN	00:11
■	常時	S210903-074331FN	02:00
■	常時	S210903-074532FN	02:00
■	常時	S210903-074733FN	02:00
■	常時	S210903-074933FN	02:00
■	常時	S210903-075133FN	02:00
■	常時	S210903-075333FN	01:20
■	衝撃	S210903-075433FE	00:29
■	常時	S210903-075514FN	00:36
■	衝撃	S210903-075540FE	00:29
■	常時	S210903-075610FN	02:00
■	衝撃	S210903-075810FE	00:30

全ファイルまたは、常時、イベント、駐車録画のタブ
をクリックして見たいファイルを選択してください。

ビューアー画面の見方

ビューアー画面について



①②再生画面 録画映像を再生

【初期設定】左：フロントカメラ、右：サブカメラ
ダブルクリックで拡大表示

- ⑧をクリックで左右反転
- ⑨をクリックで上下反転
- ⑩をクリックで左右の画面切替（フロント⇄サブ）

③前後録画ファイル分割保存ボタン

選択中の録画ファイルをフロントとサブのふたつに分けて
PCのデスクトップに保存

④事故報告書ボタン

事故報告書を保存する

⑤静止画保存ボタン

表示されている映像を静止画にして保存

⑥設定保存ボタン（38ページ参照）

設定を変更して microSD カードへ保存

⑦バージョン情報ボタン

ビューアーのバージョン情報の表示

⑧地図ボタン

地図画面を表示

⑨左右反転ボタン

再生画面の映像を左右反転

⑩上下反転ボタン

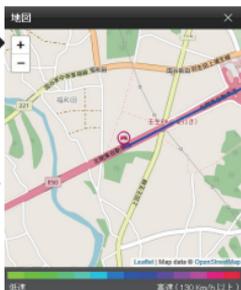
再生画面の映像を上下反転

⑪フロント / サブ切替ボタン

①、②二つの再生画面を切替

⑫最大化ボタン

再生画面を最大化



⑬シークバー

現在の再生位置を表示、変更

⑭速度

GPS 受信時、速度を表示

⑮Gセンサー値

3G センサーで記録した、走行時の揺れや衝撃などを
数値 / グラフで表示

⑯コントラスト調整バー

再生画面のコントラストを調整

⑰明るさ調整バー

再生画面の明るさを調整

⑱音量調整バー

再生音量を調整

⑲再生速度調整バー

再生速度を調整

⑳再生操作ボタン

- ◀ 1秒前で停止 || 一時停止 ▶ 再生 ■ 停止
- ▶ 1秒後で停止 ◀◀ 1つ前のファイルを再生
- ▶▶ 1つ後のファイルを再生

㉑ファイルを開くボタン

録画ファイルを選択

㉒ファイルリスト

再生ファイル一覧（全ファイル / 常時 / イベント / 駐車）

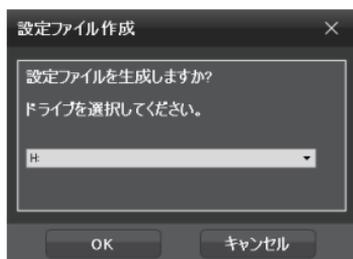
ドライブレコーダー本体の各種設定変更

⑤ 設定保存ボタン

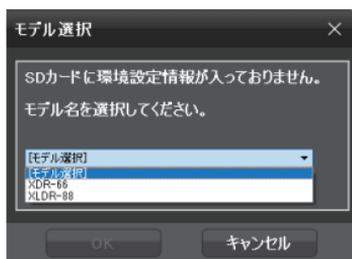
XLDR-88 シリーズと XDR-66 シリーズの設定が保存できます。
microSD カードに設定を保存し、本体に microSD カードを戻した時は、
設定が変更され、録画映像がフォーマットされます。
あらかじめ、大切な録画データは保存してください。

設定画面について

ドライブレコーダー本体の設定をビューアソフトを使って変更することができます。
設定を変更するには、microSD カード (XLDR-88) または SD カード (XDR-66) への保存が必要です。
ドライブレコーダー本体でも設定の変更がおこなえます。

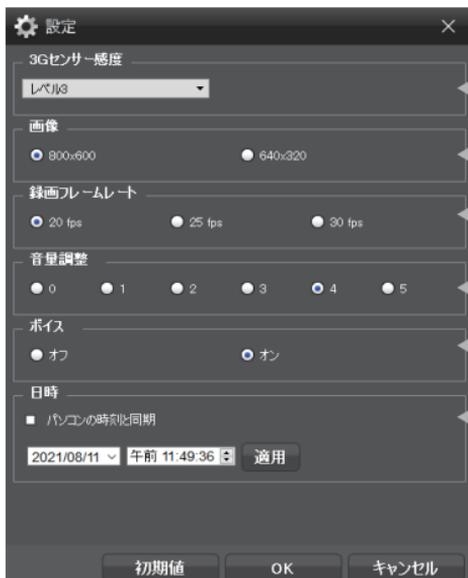


使用する SD カードをパソコンに挿入して、
そのドライブを選択してください。



使用しているドライブレコーダーを選択してください。

モデル選択：XDR-66 を選択した場合



- 3G センサー感度：レベル 1～5 【初期値 3】
- 画像：800×600 / 640×320 【初期値 800×600】
- 録画フレームレート：20fps / 25fps / 30fps
【初期値 20fps】
- 音量 (スピーカー)：0～5 【初期値 4】
- ボイス (音声録音)：オフ / オン 【初期値 オン】
- 日時：手動設定

※ 日時設定をしたあとは、本体に SD カードを速やかにセットして電源を入れてください。
GPS 接続時 (受信時) は自動的に日時情報を入手しますので設定不要です。

ドライブレコーダー本体の各種設定変更

モデル選択：XLDR-88 を選択した場合

設定項目 1	設定項目 2	選択肢	初期値
①システム	画面表示	1 分後画面 OFF / 常時 ON / 1 分後時計画面	常時 ON
	録画面面	フロント / サブ、サブ / フロント、フロント、サブ	フロント / サブ
	スピーカー音量	0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	3
	録音設定	OFF / ON	ON
②メモリ割当	メモリ割当情報	常時録画重視 / 駐車録画重視 / イベント録画重視	常時録画重視
	メモリ割当情報		
③センサー感度	常時センサー感度	1 / 2 / 3 / 4 / 5 (1 鈍感⇔敏感 5)	3
	駐車センサー感度	1 / 2 / 3 / 4 / 5 (1 鈍感⇔敏感 5)	3
④駐車録画	駐車録画機能	OFF / ON	OFF
⑤録画設定	解像度	FHD / HD	FHD
	録画フレーム数	4.9 / 19.1 / 29.1	29.1 fps
	サブカメラ録画	OFF / ON	ON
	HDR	OFF / ON	ON
	ナイトビジョン	OFF / ON (フロントカメラのみ設定可能)	ON
⑥暗証番号	暗証番号設定	OFF / ON	OFF
	暗証番号変更	<input type="text"/> ※	4桁の数字

※暗証番号設定 ON のときドライブレコーダー本体の設定用暗証番号の変更



株式会社ワーテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

 **0120-25-3930**

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)